

太工通信

令和5年度第3号

電子機械科

事故の疑似体験を通して、安全の大切さを学びました

太田 労働災害を予防しようと、作業時の危険を高校生に疑似体験してもらおう授業が16日、太田市の太田工業高で開かれた。電子機械科の3年生約40人が専用の装置を使い、製造現場で起こりやすい事故について学んだ。

製造現場での事故疑似体験

太田工高

生徒たちは配管を再現した装置で、水圧で部品が飛び出す衝撃をガラス越しに体験した。写真。藤野一男さん(17)は「すごい勢いで怖かった。ちよつとの気の緩みが、他の人を巻き込む大きな事故になりかねないと分かった」と感想を話した。担当の諸星秋彦教諭は「機械は人間を超えたもの。慢心せず、安全確認を徹底して」と生徒に呼びかけた。

授業は、県内に工場を持つ清涼飲料水製造の日本キャンパック(東京都)と太田労働基準監督署が協力して昨年からの実施している。

(林花野)



2023.06.17 上毛新聞